

平成30年7月豪雨に係る災害復旧事業の進捗状況について

1 要旨・目的

農地・農業用施設及び林道施設災害復旧事業の令和3年8月末時点での進捗状況について報告する。

2 現状・背景

(1) 進捗について

農地・農業用施設については、契約が9割を超え、工事完了も約7割となり、営農の再開が進んでいる。また、林道施設についてもおおむね契約を終え、工事完了が約8割に達している。

施設名	実施箇所 ※	契約済			工事完了		
		7月末まで ①	8月 ②	8月末まで ①+②	7月末まで ①	8月 ②	8月末まで ①+②
農地・農業 用施設	4,290 (4,924)	3,917 (91.3%)	40	3,957 (92.2%)	2,749 (64.1%)	58	2,807 (65.4%)
林道 施設	312 (315)	306 (98.1%)	0	306 (98.1%)	227 (72.8%)	7	234 (75.0%)

※ 実施箇所数は、自力復旧などの理由により申請を取り下げた（廃工）箇所を除く。（令和3年7月末現在）
< > は工事費40万円以上で、国庫補助事業として採択された箇所数。

(2) 取組状況

- ・ 地域毎に他の災害復旧工事等との調整を図りながら、随意契約等も積極的に活用し、計画的かつ効率的な発注を進めている。
- ・ 既に着手している箇所については、工事の完了に向け、進行管理を徹底している。
- ・ また、工事が未完成の箇所で、7月の大雨による増破箇所については、査定等の取扱いについて国と事前の協議を行い、10月から査定を進めることとしている。
- ・ なお、8月11日からの大雨による増破等の影響についても、確認を進めている。

3 概要

(1) 対象者

農林業関係者

(2) 事業内容（実施内容）

農地・農業用施設、林道施設の災害復旧

(3) スケジュール

平成30年度から令和3年度

(4) 予算（国庫）

農地・農業用施設 6,588,911千円 林道施設 338,700千円 （※R3 過年災当初予算額）

(5) 今後の対応

遅れている箇所については、被災者に対し復旧時期の見込などを丁寧に説明し、早期復旧を目指す。